

# ～令和7年度半期決算の概況～

令和7年度上期(令和7年4月1日から令和7年9月30日まで)における経営情報をお知らせいたします。

※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

## 自己資本の状況

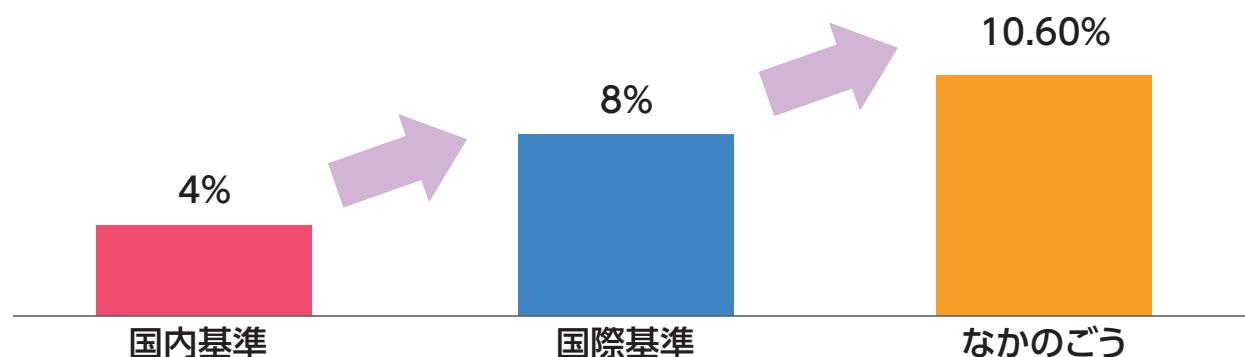
### ■自己資本額と自己資本比率

令和7年9月末の自己資本額は14,430百万円で前年同月比504百万円増加しております。

また、金融機関の健全性・安全性を示す代表的な指標として重視されている自己資本比率は、10.60%となりました。なお、国内で営業を行う金融機関に求められる基準は、4%となっております。

当組合は今後も堅実経営に徹し、内部留保に努め、自己資本の充実に取組んでまいります。

#### なかのごうの自己資本比率は10.60%です



#### 自己資本比率の算出方法

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}}{\text{リスク・アセット 等}} \times 100 = \frac{144\text{億円}}{1,360\text{億円}} \times 100 = 10.60\%$$

自己資本比率  
10.60%

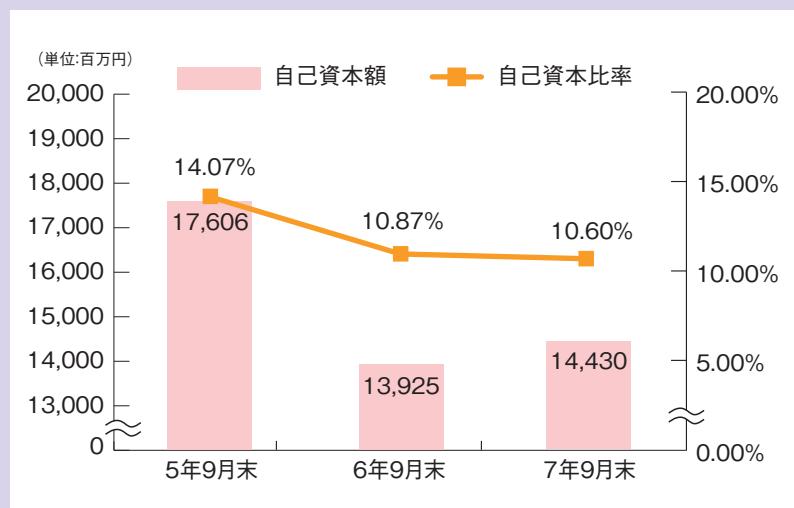
#### ●自己資本比率について

項目	令和5年9月末	令和6年9月末	令和7年9月末
自己資本比率	14.07%	10.87%	10.60%
自己資本額	17,606	13,925	14,430
リスク・アセット等	125,069	128,099	136,088

\*リスク・アセットとは、資産の各項目にそれぞれのリスクウェイト(信用リスクの度合い)を乗じて得た額の合計額です。

旧城北信用組合との合併(平成21年10月)に際し、当組合が承継した優先出資3,942百万円の消却を令和5年10月に実行したため、令和6年9月末以降の自己資本額及び自己資本比率は変動が大きくなっています。

#### ●自己資本額と自己資本比率の推移

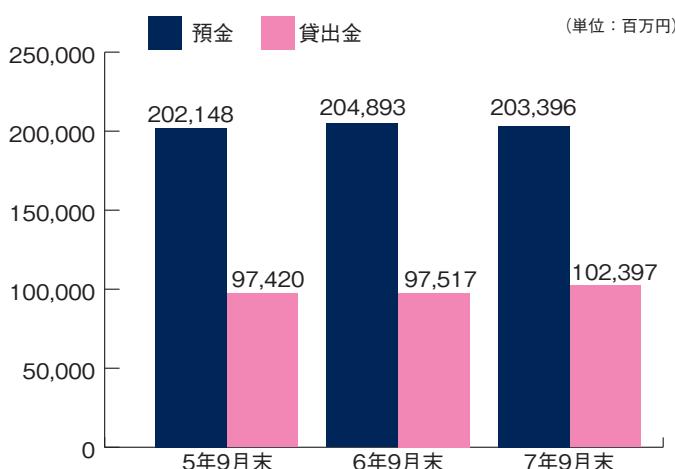


## 預金・貸出金の状況

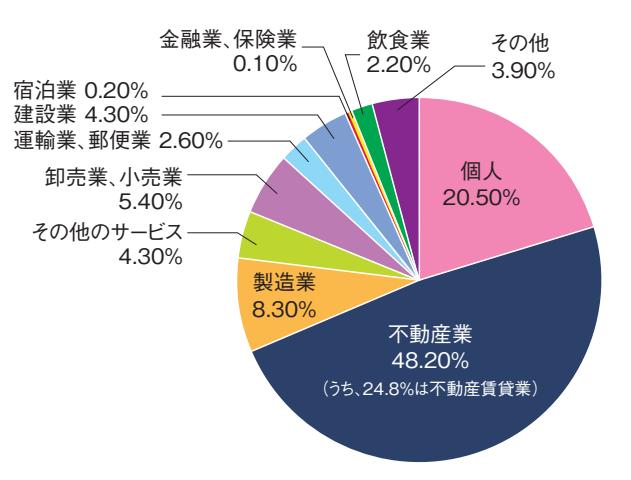
令和7年9月末の預金残高は、前年同月比14億円減少し2,033億円となりました。

また、貸出金残高は、前年同月比48億円増加し1,023億円となりました。貸出金業種別残高構成比は、下記右図のとおり不動産業の割合が高くなっていますが、これには、賃貸マンションやアパート経営をされている方に対する物件取得や建築等の資金の割合24.8%が含まれております。

### ● 預金・貸出金の推移



### ● 貸出金業種別残高構成比



## 不良債権の状況

### ■ 不良債権額と不良債権比率

不良債権額(金融再生法開示債権)は前年同月比で1,568百万円減少し6,269百万円となりました。

また、不良債権比率は前年同月比1.67ポイント改善し6.12%になりました。

不良債権比率は、経営の健全性保持の観点から引下げに努めているところですが、地域金融機関として、お取引先企業ごとに、支援・再生を念頭に置き対応させていただいているります。

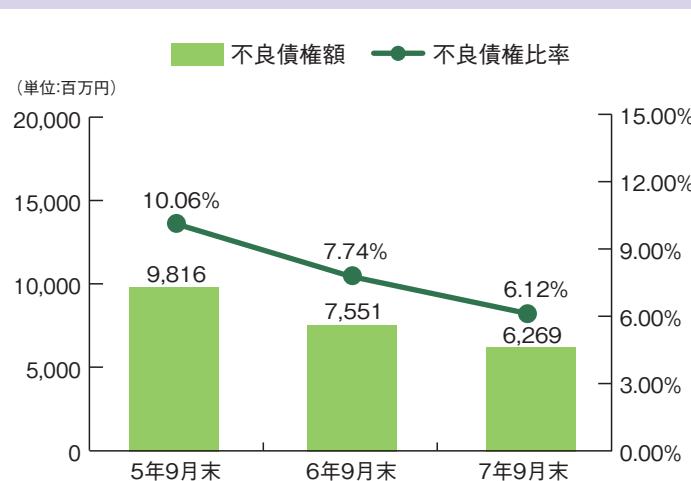
なお、不良債権に対する保全状況は、預金・不動産などの担保、公的保証機関の保証、貸倒引当金による保全額が合計で58億円あり、カバー率は93%となっています。

カバーされていない約4億円については、当組合は十分な自己資本を備え万全を期しています。

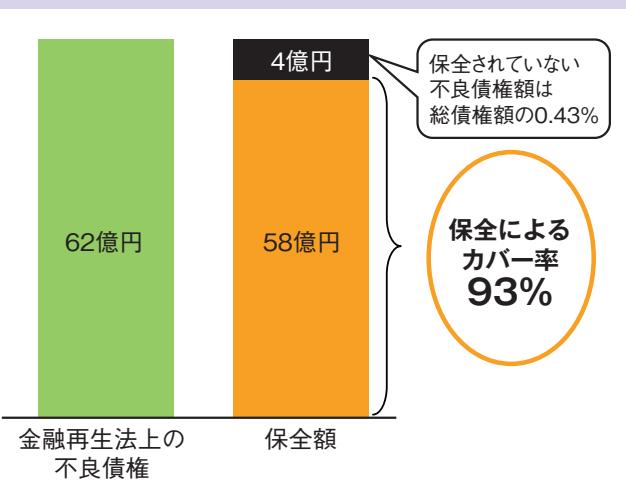
\* 不良債権比率とは、「金融再生法で定められた開示債権額」の合計に対する、「正常債権」を除く「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」の割合のことです。

### ● 不良債権額・不良債権比率の推移

(金融再生法開示債権)



### ● 不良債権の保全状況

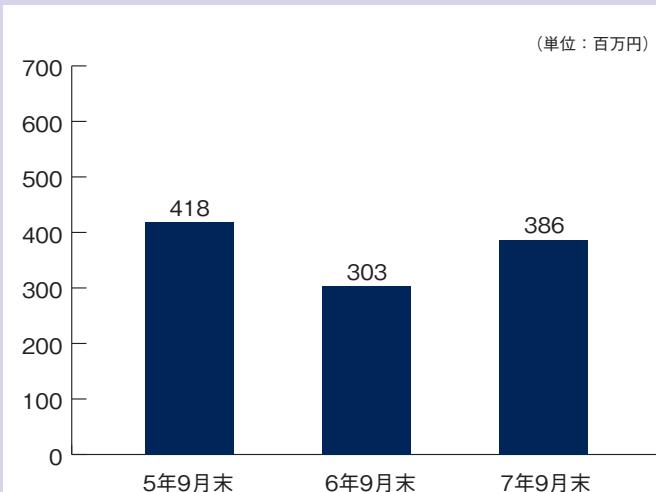


## 収益の状況

### ● 経常利益の推移

令和7年度上期の経常利益は前年同月比82百万円増加し386百万円となりました。

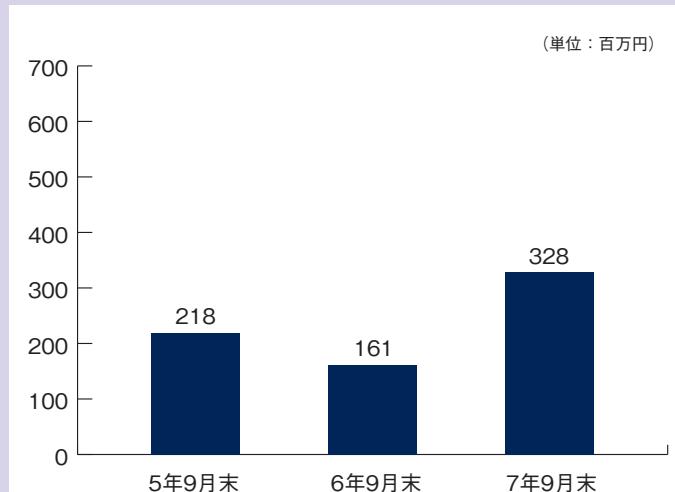
経常利益とは、金融機関の通常の活動から生じた利益を表します。



### ● 当期純利益(上半期)の推移

令和7年度上期の当期純利益は前年同月比166百万円増加し328百万円となりました。

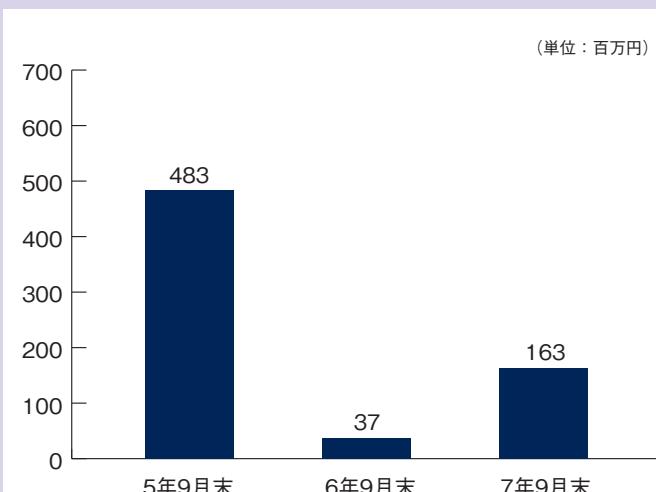
当期純利益とは、経常利益に特別損益、法人税等および法人税等調整額を加減した最終の利益です。



### ● 業務純益の推移

令和7年度上期の業務純益は前年同月比125百万円増加し163百万円となりました。

業務純益とは、業務収益から業務費用を差し引いて算出したもので、金融機関本来の業務によって稼ぎ出した利益のことです。



### ● コア業務純益の推移

本業の収益を示すコア業務純益は前年同月比85百万円増加し556百万円となりました。

コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益の影響を除いたものです。より実質的な金融機関本来の業務による収益力を表しています。



## ◆貸借対照表

(単位:千円)

科 目 (資産の部)	金 額		科 目 (負債の部)	金 額	
	令和6年9月期	令和7年9月期		令和6年9月期	令和7年9月期
現金	2,607,416	2,393,423	預金積金	204,893,895	203,396,608
預け金	45,303,465	41,479,045	当座預金	1,958,722	1,866,717
有価証券	69,445,094	66,192,425	普通預金	77,681,755	79,130,447
国債	15,284,780	13,984,790	通知預金	1,159	30,603
地方債	10,436,775	9,871,603	定期預金	116,518,386	113,016,567
社債	26,433,781	24,766,043	定期積金	7,865,899	8,254,199
株式	171,794	202,435	その他の預金	867,972	1,098,072
その他の証券	17,117,963	17,367,553	その他負債	779,602	656,990
貸出金	97,517,620	102,397,576	未決済為替借	36,149	99,399
割引手形	420,306	360,667	未払費用	119,571	169,723
手形貸付	5,947,520	3,664,365	給付補填備金	7,325	10,081
証書貸付	89,760,082	97,327,688	未払法人税等	94,508	8,003
当座貸越	1,389,712	1,044,855	前受収益	87,883	70,814
その他資産	1,867,883	1,905,838	払戻未済持分	5,467	2,731
未決済為替貸	22,948	17,876	職員預り金	109,799	101,447
全信組連出資金	1,351,000	1,351,000	リース債務	68,663	79,195
前払費用	5,402	4,607	その他の負債	250,232	115,594
未収収益	221,520	304,712	賞与引当金	120,498	123,382
その他の資産	267,013	227,641	退職給付引当金	198,896	192,381
有形固定資産	4,793,483	4,659,315	役員退職慰労引当金	86,250	95,700
建物	1,381,953	1,333,286	偶発損失引当金	1,579	926
土地	3,032,342	3,032,342	睡眠預金払戻損失引当金	17,868	17,750
リース資産	64,419	73,257	再評価に係る繰延税金負債	404,378	414,662
その他の有形固定資産	314,767	220,428	債務保証	30,455	22,785
無形固定資産	12,328	12,946	負債の部合計	206,533,424	204,921,188
ソフトウエア	2,765	3,368	(純資産の部)		
その他の無形固定資産	9,562	9,578	出資金	3,443,277	3,422,398
繰延税金資産	375,733	670,030	普通出資金	1,340,277	1,319,398
債務保証見返	30,455	22,785	その他の出資金	2,103,000	2,103,000
貸倒引当金	△ 1,724,986	△ 1,187,375	利益剰余金	10,348,360	10,955,433
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,582,323)	(△ 1,125,754)	利益準備金	1,972,211	2,027,593
			その他利益剰余金	8,376,148	8,927,840
			特別積立金	7,700,000	8,050,000
			(目的積立金)	(2,150,000)	(2,300,000)
			当期末処分剰余金	676,148	877,840
			組合員勘定合計	13,791,637	14,377,831
			その他有価証券評価差額金	△ 636,737	△ 1,356,442
			土地再評価差額金	540,169	603,435
			評価・換算差額等合計	△ 96,567	△ 753,006
			純資産の部合計	13,695,070	13,624,824
資産の部合計	220,228,494	218,546,012	負債及び純資産の部合計	220,228,494	218,546,012

## ◆損益計算書

(単位:千円)

科 目	令和6年9月期	令和7年9月期
<b>経常収益</b>	<b>2,045,597</b>	<b>2,171,165</b>
<b>資金運用収益</b>	<b>1,620,864</b>	<b>1,815,006</b>
貸出金利息	1,024,027	1,157,430
預け金利息	34,556	93,002
有価証券利息配当金	513,435	521,895
その他の受入利息	48,845	42,678
<b>役務取引等収益</b>	<b>86,511</b>	<b>93,511</b>
受入為替手数料	22,872	23,123
その他の役務収益	63,639	70,387
<b>その他業務収益</b>	<b>38,115</b>	<b>4,573</b>
国債等債券売却益	27,452	83
国債等債券償還益	26	3
その他の業務収益	10,636	4,486
<b>その他経常収益</b>	<b>300,106</b>	<b>258,073</b>
貸倒引当金戻入益	42,063	225,707
償却債権取立益	26	6
株式等売却益	172,249	—
その他の経常収益	85,767	32,359
<b>経常費用</b>	<b>1,741,967</b>	<b>1,784,701</b>
<b>資金調達費用</b>	<b>67,033</b>	<b>184,541</b>
預金利息	63,947	180,232
給付補填備金繰入額	2,595	3,786
その他の支払利息	490	522
<b>役務取引等費用</b>	<b>37,426</b>	<b>43,374</b>
支払為替手数料	6,495	6,458
その他の役務費用	30,930	36,916
<b>その他業務費用</b>	<b>462,989</b>	<b>393,580</b>
国債等債券売却損	459,025	393,372
国債等債券償還損	1,566	—
その他の業務費用	2,397	208
<b>経費</b>	<b>1,171,203</b>	<b>1,160,365</b>
人件費	752,372	733,666
物件費	348,643	358,163
税金	70,188	68,535
<b>その他経常費用</b>	<b>3,314</b>	<b>2,838</b>
その他の経常費用	3,314	2,838
<b>経常利益</b>	<b>303,629</b>	<b>386,464</b>
<b>特別利益</b>	—	<b>1,625</b>
固定資産処分益	—	1,625
<b>特別損失</b>	<b>6,663</b>	<b>525</b>
固定資産処分損	6,663	525
<b>税引前当期純利益</b>	<b>296,966</b>	<b>387,564</b>
法人税、住民税及び事業税	<b>133,884</b>	<b>47,411</b>
法人税等調整額	<b>1,776</b>	<b>12,062</b>
法人税等合計	<b>135,661</b>	<b>59,473</b>
<b>当期純利益</b>	<b>161,304</b>	<b>328,090</b>
繰越金(当期首残高)	<b>514,843</b>	<b>549,749</b>
<b>当期末処分剰余金</b>	<b>676,148</b>	<b>877,840</b>

## ◆自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項 目	令和6年 9月期	令和7年 9月期
<b>コア資本に係る基礎項目(1)</b>		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定の額	13,791	14,377
うち、出資金及び資本剰余金の額	3,443	3,422
うち、利益剰余金の額	10,348	10,955
うち、外部流出予定額(△)	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	142	61
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	142	61
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	13,934	14,439
<b>コア資本に係る調整項目(2)</b>		
無形固定資産(モーゲージ・サービス・ライツに係るもの)の額の合計額	8	9
うち、のれん及びモーゲージ・サービス・ライツに係るもの以外の額	8	9
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	8	9
<b>自己資本</b>		
自己資本の額(ハ)=(イ)-(ロ)	13,925	14,430
<b>リスク・アセット等(3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	122,197	130,651
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 1,059	△ 600
うち、他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置(自己資本比率改正告示附則第12条第8項)を用いて算出したリスク・アセットの額から経過措置を用いて算出したリスク・アセットの額を控除した額	△ 1,059	△ 600
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
オペレーション・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	5,902	5,436
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	128,099	136,088
<b>自己資本比率</b>		
自己資本比率(ハ)/(ニ)	10.87%	10.60%

## ◆貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業種別	令和6年9月期		令和7年9月期	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	8,272	8.5	8,459	8.3
農業、林業	1	0.0	1	0.0
建設業	3,670	3.8	4,450	4.3
電気、ガス、熱供給、水道業	356	0.4	361	0.4
情報通信業	1,035	1.1	902	0.9
運輸業、郵便業	3,062	3.1	2,673	2.6
卸売業、小売業	5,549	5.7	5,571	5.4
金融業、保険業	151	0.2	142	0.1
不動産業	42,886	44.0	49,321	48.2
うち、不動産賃貸業	(21,143)	(21.6)	(25,395)	(24.8)
物品賃貸業	0	0.0	0	0.0
学術研究・専門・技術サービス業	533	0.5	652	0.6
宿泊業	642	0.7	184	0.2
飲食業	2,266	2.3	2,249	2.2
生活関連サービス業、娯楽業	981	1.0	596	0.9
教育、学習支援業	1,089	1.1	766	0.7
医療、福祉	73	0.1	174	0.2
その他のサービス	5,332	5.5	4,402	4.3
その他の産業	194	0.2	171	0.2
<b>小計</b>	<b>76,101</b>	<b>78.0</b>	<b>81,381</b>	<b>79.5</b>
国・地方公共団体等	—	—	—	—
個人(住宅・消費・納税資金等)	21,416	22.0	21,015	20.5
<b>合計</b>	<b>97,517</b>	<b>100.0</b>	<b>102,397</b>	<b>100.0</b>

(注)1.漁業、鉱業、碎石業、砂利採取業は該当がなく、掲載しておりません。2.個人の不動産賃貸業関連貸出は不動産業へ含んでおります。

3.業種別区分は日本標準分類の大分類に準じて記載しております。

## ◆協金法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円、%)

区分	残高(A)	担保・保証額(B)	貸倒引当金(C)	保全率(B+C)/(A)	引当率(C)/(A-B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和6年9月期	3,054	1,652	1,402	100.00
	令和7年9月期	2,973	1,933	1,040	100.00
危険債権	令和6年9月期	3,508	2,681	148	80.64
	令和7年9月期	2,397	1,981	75	85.77
要管理債権	令和6年9月期	988	841	17	86.84
	令和7年9月期	898	790	9	88.98
三月以上延滞債権	令和6年9月期	0	0	0	0.00
	令和7年9月期	0	0	0	0.00
貸出条件緩和債権	令和6年9月期	987	841	17	86.93
	令和7年9月期	897	790	9	799.00
小計	令和6年9月期	7,551	5,174	1,567	89.27
	令和7年9月期	6,269	4,704	1,124	92.97
正常債権	令和6年9月期	90,038			
	令和7年9月期	96,221			
合計	令和6年9月期	97,589			
	令和7年9月期	102,490			

(注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができるない危険性の高い債権(1に掲げるものを除く)です。

3.「要管理債権」とは、「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金です。

4.「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金(1及び2に掲げるものを除く)です。

5.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金(1、2及び4に掲げるものを除く)です。

6.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権(1、2及び3に掲げるものを除く)です。

7.「担保・保証等」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。

8.「貸倒引当金」は、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

9.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条3項)によるものに限る)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る)です。

10.金額は半期決算後の計数です。

## ◆有価証券の時価情報

◎満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種類	令和6年9月期			令和7年9月期		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	—	—	—	—	—	—
	その他	300	305	5	100	102	2
	小計	300	305	5	100	102	2
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	300	261	△38	300	240	△59
	その他	2,400	2,170	△229	2,600	2,243	△356
	小計	2,700	2,432	△267	2,900	2,483	△416
合計		3,000	2,737	△262	3,000	2,586	△413

(注)1. 時価は、9月末日における市場価格等に基づいております。

2. 「社債」には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。

3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

4. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

◎その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	令和6年9月期			令和7年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	82	61	20	121	79	42
	債券	22,483	21,741	741	9,730	9,612	118
	国債	7,729	7,331	398	3,652	3,608	44
	地方債	6,272	6,084	188	2,846	2,800	46
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	8,481	8,325	155	3,231	3,203	28
	その他	8,532	7,796	736	8,272	7,170	1,101
小計		31,098	29,599	1,498	18,124	16,862	1,262
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	8	10	△1	—	—	—
	債券	39,289	41,316	△2,027	38,592	41,248	△2,656
	国債	7,555	8,676	△1,121	10,332	11,586	△1,253
	地方債	11,351	11,734	△383	7,025	7,554	△529
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	20,382	20,905	△522	21,234	22,108	△873
	その他	6,876	7,423	△546	6,395	6,913	△518
小計		46,174	48,750	△2,575	44,987	48,162	△3,175
合計		77,272	78,350	△1,077	63,111	65,024	△1,913

(注)1. 貸借対照表計上額は、9月末日における市場価格等に基づいております。

2. 「社債」には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。

3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

4. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

# SDGsへの取組み

当組合は、創業精神である『なかのうのちかい』のもと、金融業務にとどまらず、環境、文化・教育、福祉、防犯など、地域社会の発展のために様々な取組みを行っております。

SDGsへの取組みにつきましては、「中ノ郷信用組合 SDGs宣言」を令和2年10月に策定し、当組合のホームページ等で公表しており、今後も積極的に地域経済の発展と持続的な成長に貢献していきます。



## 1. 地域経済の活性化



財務・税務コンサルティングサポート  
TKC東・東京会との連携



事業支援・経営改善に向けた  
経営相談の実施



他、事業性評価に基づく融資・支援推進、創業支援のための融資取組み、「新現役交流会」による人材マッチングの取組みなど

## 2. 地域社会への貢献



地域行事への参加



献血運動への参加



他、認知症サポーターの育成、店舗周辺の清掃活動、チャリティー型飲料自動販売機設置による子供の貧困対策支援など

## 3. 環境保全に対する取組み



ペットボトルキャップ回収  
リサイクルの取組み



環境配慮型金融商品の取扱い推進



他、環境認証制度（エコアクション21）の全店舗取得、節電・省エネルギーへの積極的取組み、クールビズの実施など

## 4. 人材育成への取組み

- ・プロセス評価の導入を含めた人事考課制度の見直し
- ・各種資格取得・検定試験に向けた奨励・支援ならびに内外研修への参加・実施
- ・女性活躍推進法に基づいた女性職員の雇用環境整備の推進



# TOPICS～地域密着金融の推進・取組み～

## 令和7年度 入組式を開催しました

令和7年4月1日、本部にて新入職員入組式を行いました。新入職員18名が当組合で新しい一步を踏み出しました。



## 本店懇話会勉強会を開催しました

令和7年4月28日、本店懇話会勉強会を開催しました。本店懇話会は、会員の皆さまの自己研さんや情報交換・異業種交流の場となるように開催内容を本店職員が検討し、実施しています。

今回は当組合の非常勤理事である西山真一氏(中小企業診断士・社会保険労務士)を講師として『中小企業の事業承継』をテーマに勉強会を開催し、30名の方々にご参加いただきました。



## 春のなかのごうグルメ会を実施しました

令和7年5月、第66回 なかのごうグルメ会を『リストランテベニーレベニーレ』において4班に分けて実施しました。

懷石料理の要素を取り入れた繊細なイタリアンコース料理を参加された85名のお客様にお楽しみいただきました。



## 渉外職員へ空調服を支給しました

記録的な酷暑が続く昨今の異常気象において、当組合の渉外活動を行う職員の健康と安全の確保及び令和7年6月1日から改正施行された労働安全衛生規則に基づく熱中症対策を遵守するため、支店長、営業課長、営業課員、年金アドバイザーへ空調服を支給しました。

今回、導入した空調服は、廃漁網を再利用した再生ポリエステルを使用して製造されており、環境に配慮とともに快適性を追求した空調服となっています。

当組合では、平成23年10月に環境認証制度(エコアクション21)の認証を取得し、令和2年10月にはSDGs宣言を行っており、今回の取組みは資源循環の促進や持続可能な社会の実現、さらには再生ポリエステルの製造販売などを手掛ける企業活動の支援にもつながります。



## 環境省策定『エコアクション21』による環境保全活動を推進しています

中ノ郷信用組合SDGs宣言に基づく環境保全に対する具体的な取組みとして、『令和6年度 エコアクション21環境経営レポート【第15版】』を作成し、公開しました。最新の環境経営レポートは店頭及び当組合ホームページ(下記QRコード)より閲覧できます。

また、当組合は環境省「21世紀金融行動原則」へ署名しており、今後もSDGsへの取組みを踏まえ、事業活動を通じて環境保全に配慮した環境経営に努めてまいります。



## しんくみの日・しんくみの日週間における社会貢献活動を行いました

当組合をはじめ、信用組合業界では9月3日を「しんくみの日」、9月1日～7日を「しんくみの日週間」として定め、社会貢献活動を行い、お客様や地域の方々へ日頃の感謝の気持ちを込めたイベントの開催や奉仕活動を実施し、しんくみブランドのイメージアップに取組んでいます。

当組合では、各営業店が主体性を持ってしんくみの日週間の活動やイベントを計画し、実施しています。一つ一つのイベントを通してお客様や地域の方々に喜んでいただき、なかのうファンを増やせるよう役職員が一丸となって努めております。



### 地域奉仕活動を行っています

地域奉仕活動として、店舗周辺の清掃活動や春・秋の全国交通安全運動の期間に旗振りによる交通安全の呼びかけを行うなど、各営業店にて地域に密着した様々な取り組みを行っております。



### 地域の皆さまの作品を展示しています

当組合では、各営業店のロビーにて随時、地域の皆さまの作品を展示したアート展を開催しております。

地域の皆さまとのつながりを大切にし、ご来店いただいたお客様にも楽しんでいただけるよう、努めています。



## 外部機関と連携した職員教育の充実による事業支援の強化に努めています

### 信用保証業務に関する基礎研修会を開催しました

当組合では、日頃より東京信用保証協会と連携し、中小企業の皆さまへの円滑な資金供給に努めております。

令和7年6月、東京信用保証協会 錦糸町支店様にご協力をいただき、当組合の若手職員向けに信用保証業務に関する基礎研修会を開催しました。

信用保証業務の実務を中心にご担当者様より保証審査についてのポイントや協調支援型特別保証制度、経営者保証非提供制度、ニーズ別保証制度などを中心にご講義をいただき、若手職員の経営支援力の強化を図りました。

事例を交えて確認を行うことで、保証制度の適切な活用方法について理解を深めることができ、日々お客様との対話を重ねることでニーズを把握することができること、また、信頼関係を構築することの重要性を改めて学ぶことができました。



職員のスキルアップを通じて、お客様の経営に関する課題の解決に向けたお手伝いや円滑な事業承継のサポートをしてまいります。事業に関するお悩みは、当組合までお気軽にご相談ください。

### なかのうの年金サービス・特典

当組合を年金受給口座としてご指定いただいているお客様に様々なサービスや特典をご用意しております。大切な年金のお受け取りは是非、当組合をご指定ください。既にほかの金融機関で年金をお受け取りになっている方も「なかのう」の口座へ変更できますので是非、ご相談ください。

また、当組合では年金アドバイザーによる「年金相談会」を定期的に開催しております。年金制度に関するご相談やご質問等がございましたら、お気軽にご来店ください。

年金相談会の開催日程については、当組合ホームページまたはQRコードよりご確認ください。



### 各種補助金活用勉強会を開催しました

令和7年7月、当組合が事業者支援の一環として取組んでいる「経営改善支援活動」にご協力いただいている中小企業診断士の三上先生を講師としてお迎えし、営業課長向け『各種補助金活用勉強会』を開催しました。

講義内容は、補助金と給付金・助成金の違いなど、概要的なものから当組合のお客様が利用しやすい「小規模事業者持続化補助金」の内容を中心に、補助金申請の準備や申請書作成時のポイントなど、三上先生ご自身の経験談を踏まえた具体的なお話をしていただきました。

営業課長が中心となって補助金について知識を深め、部下へ知識を共有することでお客様への提案の選択肢を増やし、新規取引先の獲得や事業性融資の推進などにつなげができるよう、営業力の強化とスキルアップを図りました。



### 創立100周年に向けてカウントダウン！

当組合は、社会運動家であり、日本の協同組合運動の父といわれている賀川豊彦により、昭和3年（1928年）6月に「中ノ郷質庫信用組合」として設立されました。

創業精神である隣人愛による相互扶助を基調に、組合員の皆さま、地域の皆さまと共に歩み続け、令和10年6月14日に創立100周年を迎えます。これまで支えて下さった皆さまへ感謝を伝えるため、今後、創立100周年を記念した様々な取組みを実施してまいります。

それに先駆けて令和7年6月9日から9月30日に創立100周年に向けて、特別金利を設定した3年もの定期積金「未来へのバトン」を販売し、完売いたしました。



# 各店サークル活動等のご案内

中ノ郷信用組合は、創業精神である隣人愛による相互扶助を基調に、役職員の全力を結集して、地域最良の金融機能を発揮することにより、地域の皆さま、組合員の皆さまとともに歩んでまいりました。「人と人とのつながり」を大切にし、組合員や地域の皆さまと役職員の双方が顔を知っている“お互いの顔が見える間柄”を目指し、皆さまへホールやロビーの開放を行っている他、各種サークルや経営懇話会の開催などを通じて交流の場としてもご活用いただいている。

また、役職員が地域のお祭りやイベントなどに参加して地域活性化に積極的に取組み、豊かで住みよい地域社会の実現へのお手伝いをしています。当組合は今後も地域社会の一員として地域社会の持続的発展に寄与していくために、様々な取組みを行ってまいります。

## ◇ 各店サークル活動等一覧

地区	店舗名	サークル・講習会名	開催日
墨田区	本店	すばる(声出し脳トレ)	火
		笑顔でいきいき介護予防体操	第1・3火
		フラダンス「モキハナ」	第1・3火
		鍛脳フィットネス＆ヨガレッチ	第1・3水
		Y.Yティイクテン	第2水
		厩橋簿記講習会	木
		社交ダンス「スカイ&ツリー」	木
		自彌術同好会	金
		気功経絡体操の会	火
寺島支店	寺島支店	いちごの会(転倒予防体操)	第1・3火
		メロンの会(介護予防体操)	第1・3火
		曳舟体操会(転倒予防)	第2・4火
		民話を語ろう会	第2・4火
		英会話グループ	水
		キラキラ折紙すみれ会	第1・3水
		スミダ健康クラブ寺島(体操)	第2・4水

地区	店舗名	サークル・講習会名	開催日
墨田区	寺島支店	和服リメークの会	第1・3木
		太極拳サークル「八広C」	第1・3木
		なごみヨガの会	第2・4木
		イレブンラッキー パソコン教室	第2・4木
葛飾区	鐘ヶ渕支店	梅若体操会	第1・3水
	立花支店	なでしこティイクテン(健康体操)	第4木
大田区	葛飾支店	太極拳「りぽんサークル」	月
	大森支店	青戸中央スケッチの会	第1・2火
北区	川柳「葛水会」	第2水	
	堀切支店	水彩画	第1・3月
	滝野川支店	絵手紙教室「ビッグウッド」	第3金
大森支店	いけ花・フラワーアレンジメント教室「花あそび」	休止中	
	カラオケサークル「アイアイ」	火	
	カラオケ「すみれ会」	水	
	折り紙教室「おりがみ遊」	第2木	

※サークル活動等が行われている店舗のみ掲載しております。



本店 社交ダンス「スカイ&ツリー」



本店 鍛脳フィットネス＆ヨガレッチ



大森支店 絵手紙教室「ビッグウッド」

## 営業店の活動状況等



本部・本店 牛嶋神社大祭



本店 牛嶋神社大祭



寺島支店 なかさと会子供祭り



葛飾支店 梅田稻荷神社例大祭



滝野川支店 瀧野川八幡神社例大祭宵宮



大森支店 中ノ郷大森懇話会



鐘ヶ渕支店 駒田稻荷神社祭礼



石原支店 石原2丁目町会祭礼



堀切支店 氷川神社祭礼



立花支店 香取神社祭礼



南小岩支店 小岩神社例大祭



立石支店 本田町会納涼盆踊り



新小岩支店 東新小岩8丁目町会盆踊り大会準備



小石川支店 南戸崎町会お祭り広場



江戸川橋支店 赤城神社祭礼



板橋支店 はすねロータス商店会「ザ・縁日」



三崎町支店 神田三崎町こども祭



京橋支店 納涼会

## 営業店にてゴルフ会を結成しています

当組合では、ゴルフ競技を通じて幅広い年齢層のお客様同士の交流を深めていただくために営業店が主体となってゴルフ会を結成し、隨時ゴルフ競技大会を開催しています。



葛飾支店 郷友会



濱野川支店 北郷会



石原支店 郷球会



江戸川橋支店 中ノ郷会